

1 日時場所 平成31年4月26日(金)9時30分開会
南魚沼市民会館2F 研修室・会議室

2 出席者

委員：南雲権治教育長、西野仁委員、川島亜紀子委員、須藤文子委員

事務局：平賀教育部長、山崎学校教育課長、滝沢社会教育課長、西潟生涯スポーツ課長、阿部子ども・若者育成支援センター長、笛木管理指導主事、田中管理指導主事、倉上指導主事、長田スクールソーシャルワーカー、齋木子ども若者育成支援センター指導主事、久川囑託指導主事、瀧澤囑託指導主事、種村囑託指導主事、青柳囑託指導主事、岡村囑託指導主事、林学習指導センター事務員、佐藤学校庶務主幹、貝瀬施設主幹、学校庶務班青木

3 議題

日程第1 **会議録署名委員の指名について**

西野仁委員、川島亜紀子委員

日程第3 **管理指導主事等からの報告**

(笛木管理) 新学期が始まり1か月、子供たちが登校し3週間経過、小学校から大きな問題の報告はない。

教職員の年齢構成、若手・ベテランが多く、真ん中がない状況。学校事務職員の未配置校の解消のお願いなどをしていきたい。

小学校親善大会の来賓として出席いただきたい。希望を聞き調整していく。

(田中管理) 中学校・総合支援学校、スムーズに新年度が始まった。小学校の時、顔出しができなかった生徒が中学校で終日顔を出すことができた。関係者に驚きと喜びがあった。無理させないようにしたい。

(倉上主事) 森田指導主事の後任の倉上明です。よろしくお願いします。

難聴の子供について、長岡聾学校の小出分校室に通級指導の教室が開設された。長岡聾学校で魚沼市と南魚沼市の子供たちを対象に指導する。

5/12(日)に「スプリングセレモニー新成人の集い」を行う。通常の成人式だと参加しづらいという特別支援学級の出身者、特別支援学校の出身者を皆で祝う会になる。新成人8名参加、一般その他20名くらいの参加。100名くらいの参加を見込んでいる。

5/22(水)に特別支援教育・教育相談支援説明会を行う。特別支援教育は、総合支援学校に特別支援教育推進室あり、連携しながら就学相談進路相談をどうするか、通常学級から特別支援学級、支援学校に籍をかえるということも、学校でどう取組んでもらうかの説明をする会となる。教育相談支援については、体育課指導主事を中心に不登校や学校に適應できない子供についての説明をし、子供・若者育成支援センターと説明させていただく。

(長田 SSW) スクールソーシャルワーカーの長田美智留と申します。南魚沼市、今年で4年目になります。学校の中に、子供たちや先生たち、それに付随する保護者、支援者がいるが、その中で困った問題がでてくる。その問題を学校と一緒に解決解消を支援していく仕事をしている。

問題というのは、不登校、いじめ、発達の問題ということで集団勉強がしにくくなっている。子どもたちが苦しんでいる。貧困…家族の経済的な負担、家庭がうまくい

かなくなって苦しんでいる。

その問題を困った困ったで見ているだけでなく、整理して解決に向けての支援策を見つける手伝いをする。その時に、問題の分析という形で先生たちといろいろ話をしながら、まず学校ができていることを整理し、違う面から見て新しいことができるかなということ話し合っ、ケース会議を開き、実際保護者にあって何が必要なのかりサーチ、その上で南魚沼市が持っている資源、医療、居場所機能、カウンセリング機能、福祉の制度、そういうものを利用したら、もっと楽に問題を解決できるのではないか。一緒に学校と支援者と保護者と少しでも行きやすい状態をつくるためにお手伝いすること。いちばんは必要な社会資源を把握して、そこに適切に繋げていくことがメインの仕事です。南魚沼市独自のスタイルに少しでも貢献できるように思っている。子供たちが義務教育の間に、元気に持っている力を潰さずに引き出すことを考えている。

(齋木主事) 4月から子若センターでお世話になる齋木です。

若者支援ということで39歳までの若者の対応ができる。この若者がどんなところで悩んで、躓きがあったのか、どこで支援があったらもっと改善できたのかを考えられる。そのことを考えると、中学校での対応、小学校での対応、もっと早期での対応、という点からよかったのかなと思うことがある。

今いる若者に対しても精一杯、地域の資源を活用しながら、取組みながら、判断しながら、就労支援しながら、できるだけ自立して税金が払える若者になるようになってもらいたい。そういう若者が今非常に増えている。非常に心配している

早期対応ということで不登校、その芽も小さいころからある。できるだけ早期発見早期対応していきたい。そこに全力で力をいただいて、対応できたら悩む子供たちが減るのではないか。早期発見に対して、どれだけ知恵を使いながら、セットアップを使ってやれるか考えていきたい。

今色々な問題、事件が多い。チョットした判断の迷い、間違いが起きないように、小・中学校と連携を取りながら、怪しい、危ないケースなどは早めに情報をいただき、長田先生、青山先生と進めていきたい。

(西野委員) お二人の先生が、市内の校長先生・教頭先生等にお話をする、こういうような事を考えて、こういう事をやろうと思っているという話をする機会はあるのか。

(長田 SSW) 校長会に呼んでいただいて、ソーシャルワーカーはこんな仕事をさせていただきたいので、よろしくお願ひしますと説明した。電話をいただくこともありますし、実際に学校に行けば必ず管理職とは話をする。事例で訪問しているたびに、こういう仕事をしている人なんだと、徐々にわかっていってもらっている段階です。

5月に先生方向けの研修会を開かせてもらって、ワーカー目線で見ると事例の支援というものを学習センターが企画した。そこにも担当職員か管理職の方々に来ていただく予定。

(齋木主事) 一人で進めている。いろいろな問題もある。支援機関もある。学校も対応能力を高めていただきたい。問題を察知する感性、感度、それに対しての対応能力。校長を中心に高める努力をしていただきたい。センターとしても情報提供、相談対応していきたい。

学習指導センター報告

(久川主事) 今年度6名体制。よろしくお願ひします。事業計画の大きく変わった点について 外国語活動、国際科、英語担当の先生がいなくなり、代わりに社会科(久川先生)担当が入った。国際科も担当するが専門ではない。

研修については例年通り実施。学習指導センターだよりの発刊、視聴覚機器の貸し出しを行う。

(久川主事) 私は統括指導主事になります。昨年度田村先生。全体的なところとしては、社会科の研修計画は除いてある。私の方で社会科の一般講義授業等を一つだけ盛り込んだ。これに国際化を入れて、社会科のエキスパートでグローバルな研修を社会科の教員に向けて発信したい。

(滝沢主事) 国語担当です。

従来通り学校での課題、学力向上に向けての課題に対応すべく先生方は頑張っている。一緒に入りながらアドバイス・情報提供をしながら支援していく。特に「読む」「聞く」「話す」「漢字」といった基礎基本的なことを確実に定着し、そして「伝えよう」ということが一つのキーワードになっている。どの学校もそこを中心に校内研修を行っているが、ほかの学校の先生方も入って頂くよう校長先生にお願いして、一緒に勉強していく。

(種村主事) 算数・数学担当です。

県の配置で学力向上専門官が、今年度は数学が2か年間配置。数学学力向上に向けて、月1回程度の担当者会議により情報交換をし、どのように取り組むのか皆で知恵を出し合う。昨日、第1回会議が行われ、基本方針、こういう事で頑張っていこうと、力強いスタートが切れた。中学校区で5回の授業で5・6・9・10・11月に学校に出向き勉強を行う。そのほかに7・8月に外部から中越教育事務所数学担当指導主事経験者を二人招き、数学の授業をどうすればよいか、学力向上策について講演を予定。

(青柳先生) 南魚沼市理科センターとして2年目。兼任所員9名、専門員の皆さん6名、六日町小宮山先生のメンバーで頑張っていく。

講座等について、お手元の資料のとおり。事業計画については、基本方針は資料のとおりですが、理科の先生方の指導力を高めて、それが子供たちの学力向上につながる。スローガンとしては「より良い教材で、わかりやすい授業を」で昨年度から取り組んでいく。

地域に根差した理科センターとして頑張っていきたい

(岡村先生) 道徳教育について、教育委員のお手元に授業づくりハンドブックと中学校の道徳科がスタートのリーフレットを配布。授業づくりハンドブックは市内の小中学校の先生全員に、授業づくりの具体的なヒントにと配布。リーフレットは小中学校の保護者に配布。2年間文科省の道徳教育授業を進めてきた。その成果を生かして今年度継続できるように先生方、家庭にPRしていく。具体的に授業の中で活用していく

図書館教育については、市の図書館との連携により学校図書館も充実させたい。教育長の方針により進めている。今年度学校司書、学校図書館事務員を3名配置。拠点校は浦佐小学校、おおまき小学校、塩沢小学校。3つの学校を中心とし、各地区の図書館の整備をしていく。

(林事務員) センターの事務員をしています。先生方の事務的な面をサポートしながら、研修や訪問などのお手伝いをしていきます。

(教育長) 学習指導センターについての意見・質問等ありましたら。

(全員) なし

日程第2 教育長及び事務局諸報告

(教育長) 教育長及び事務局諸報告のとおり。

質疑なし

日程第4 第23号議案 南魚沼市教育基本計画検討委員会設置要綱の制定について

(教育部長) 教育基本計画検討委員会設置要綱の制定について資料説明。
H33からの教育基本計画策定について、検討委員会を設置するための要綱を定めるもの。

質疑なし

日程第5 **第3号報告 南魚沼市奨学金貸与基金条例に基づく奨学生の認定について**
(庶務主幹) 奨学金貸与基金条例に基づく奨学生の認定について資料説明。

日程第6 **その他**

(1) **子ども・若者育成支援センターの相談等状況について(3月分)**

(2) **平成30年度子ども・若者育成支援センター事業状況**

(センター長) 日程14ページ、3月分相談等状況について資料説明。

(川島委員) P24居場所の利用の回数がとても伸びているように感じる。以前の話では、コミュニケーショントレーニングの方が中々伸びない。ここに至るまでの若者が中々いないと聞いた。居場所を利用する若者について、居場所を利用するだけで、親御さんとの関りはセンターの方は取られている方と、取られていない方といるが、居場所に行けばいいだけではないと思うが。

(センター長) 居場所もただ安心して過ごすだけの場所ではなく、相談員や利用者同士で関わることで社会性を高めていく一つの場だと考えている。

(川島委員) 居場所を利用されている方の保護者の方、センターの方は何度か面談などは。

(センター長) 相談をしていく相談者もいれば、親御さんと相談していない居場所の利用者もいる。

(川島委員) 何かしらの双方からの形で、若者がどういった形で自立していったら良いのか、若者だけでなく、抱えている家族の方たちのサポートも抱えながら一緒に考えていければいいのかなと思う。繋がっていないところを色んなアクションを起こしながら連携を取れるとよい

(センター長) 居場所をただ利用するだけでなく、相談に来られる方が、時間はかかるが何らかの目的をもって、例えば就職したいとか、そういったことを目標に次のステップに行けるよう相談支援行っていきたいと考えているが、相談者によっては進まないのも現実です。

(3) **その他**

(田中先生) 学校訪問について(日程調整)

(施設主幹) ①エアコンの設置状況について、昨年度からの繰越事業により順調に進んでいる。塩沢小学校、上関小学校、現地が終わった。確認検査を行っていく。引き続きほかの学校も施工し、6月中には現地完了予定。

②上田小学校改修工事については、国からの補助金の内示をもらった。夏休みをメインに工事するため、準備作業をしている

(教育長) 次回の教育委員会は、5月29日(水)午前9時00分から開催する予定。

12時15分閉議閉会